

令和 8 年 2 月 6 日

沖縄県がん診療連携協議会

委員各位

(一社) 沖縄県歯科医師会

会長 米須 敦子

(公印省略)

がん患者における歯科治療及び口腔ケアについてのお願い

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の活動にご理解と多大なるご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、がん患者が外科的治療を受けるにあたり、周術期に適切な口腔ケアを実施することは、術後合併症の予防や治療の安全性向上の観点から、極めて重要であるとされています。また、薬物療法や放射線治療を実施する際においても、口腔内環境を良好に保つことは、治療の円滑な遂行や有害事象の軽減のために重要です。

一方、歯科医療機関において、これらの歯科治療および口腔ケアに必要な口腔衛生管理（診査、診断）を計画的に実施するためには、一定の準備期間を要する場合があります。特に、手術直前での急なご紹介の場合には、十分な対応や日程調整が困難となることも少なくありません。特に最近では、手術予定日の 2 週間ほど前の時期にご紹介いただく症例が増えてきており、その対応に苦慮している次第です。

沖縄県歯科医師会では、がん患者に対する口腔ケアに関する医科・歯科連携をより円滑に進める観点から、

- 1 外科的治療、放射線治療、薬物療法の施行予定の少なくとも 4 週前の予約
- 2 抜歯、齲歯、歯周病処置が多数、長期に及ぶ可能性がある場合は、少なくとも 8 週前の予約（感染源除去創部の治癒には 7～14 日かかるため）を要望します。

なお、歯科医療機関においては、これらの紹介患者につきまして、可能な限り治療を優先的に進めていくことを検討しております。

ただし、現在歯科医院は、感染防止のため、完全予約制になっており、直前の対応処置に関しては難しい場合もあります。（このことが、会員からの最も多い訴え）口腔ケアとは、口腔清掃、嚥下指導等の事で、診査、診断、治療の事ではありません。感染源の処置は、当該病院の歯科口腔外科にて処置後に開業歯科医院への紹介なのか確認していただきたく、その除去となりますと、抜歯、歯周処置、根管治療、バイオフィルム除去などは一か月以上の期間が係ります。なお、腫瘍処置が優先のため、口腔機能回復（義歯等補綴）は除外しています。

以上を、沖縄県がん診療連携協議会で協議していただき、別紙のような文書をがん医療に関わっているすべての医療機関へ配布していただきたいと思います。

ご審議をよろしくお願い申し上げます。

がん診療選定医療施設

施設長 各位

沖縄県がん診療連携協議会

議長 鈴木 幹男

(琉球大学病院長)

(一社) 沖縄県歯科医師会

会長 米須 敦子

(公印省略)

がん患者における歯科治療及び口腔ケアについて (お願い) (案)

日頃より、本県におけるがん診療体制の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、がん患者が外科的治療を受けるにあたり、周術期に適切な口腔ケアを実施することは、術後合併症の予防や治療の安全性向上の観点から、極めて重要であるとされています。また、薬物療法や放射線治療を実施する際においても、口腔内環境を良好に保つことは、治療の円滑な遂行や有害事象の軽減のために重要です。

一方、歯科医療機関において、これらの歯科治療および口腔ケアに必要な口腔衛生管理 (診査、診断) を計画的に実施するためには、一定の準備期間を要する場合があります。特に、手術直前での急なご紹介の場合には、十分な対応や日程調整が困難となることも少なくありません。

このため、沖縄県がん診療連携協議会および沖縄県歯科医師会では、がん患者に対する口腔ケアに関する医科・歯科連携をより円滑に進める観点から、下記のとおりご対応をお願いしたいと考えております。

1 手術予定日の少なくとも 4 週間前までを目安として、歯科医療機関へのご紹介をご検討ください。

2 齦歯以外の口腔疾患が認められる場合には、可能な限り 8 週間前までのご紹介をご検討ください。

なお、歯科医療機関においては、これらの紹介患者につきまして、可能な限り治療を優先的に進めていくことを想定しております。

貴院におかれましては、以上の趣旨をご理解いただき、余裕をもったご紹介を行っていただくことで、より質の高いがん医療の実現につなげていただきますよう、お願い申し上げます。

今後とも、本県におけるがん診療と歯科医療の連携推進につきまして、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【本文書に関するお問い合わせ先】

琉球大学病院がんセンター

事務担当：石川

電話：098-894-1528

メール：hk209555@cs.u-ryukyu.ac.jp